Cisco IMC Supervisor の移行

この章は、次の内容で構成されています。

- Cisco IMC Supervisor バージョン 2.1 への移行とバージョン 2.1(0.1) または 2.1(0.2) へのアップグレード，1 ページ
- Cisco IMC Supervisor でサポートされるアップグレード/移行パス，3 ページ

Cisco IMC Supervisor バージョン 2.1 への移行とバージョン 2.1(0.1) または 2.1(0.2) へのアップグレード

Cisco IMC Supervisor2.1(0.1) および 2.1(0.2) はパッチとして提供されます。[Shell Admin] メニューの [Apply Patch] オプションを使用して、バージョン 2.1 から 2.1(0.1) または 2.1(0.2) にアップグレードできます。アップグレードについては、「Cisco IMC Supervisor のアップグレード，（2 ページ）」を参照してください。

Cisco IMC Supervisor 2.1 は、アプライアンスとして使用できます。[Shell Admin] メニューの [Apply Patch] オプションを使用して、2.0 バージョンから 2.1 にアップグレードできます。アップグレードについては、「Cisco IMC Supervisor のアップグレード，（2 ページ）」を参照してください。

Cisco IMC Supervisor のバージョン 1.0 または 1.1 からバージョン 2.1 へはアップグレードできません。2.0 以前のバージョンについては、まず 2.0 に移行してから、2.1 にアップグレードする必要があります。移行パスと移行の詳細については、「Cisco IMC Supervisor の移行」を参照してください。

重要

zip 3.x を CentOS 6.x.で使用して Cisco IMC Supervisor 2.1 OVF と VHD の zipファイルが作成されます。Linux システムの場合は、unzip 6.x 以降または最新バージョンの 7-Zip アーカイブ ツールを使用して zip ファイルを抽出できます。Windows システムの場合、Windows 10 および Windows Server 2012 R2 では Windows Explorer のネイティブの Extract All、または 7-Zip や WinRAR などの最新バージョンのアーカイブ ツールを使用して zip ファイルを抽出できます。

Cisco IMC Supervisor の移行

Cisco IMC Supervisor の移行

2.0 以前の Cisco IMC Supervisor バージョンを移行するには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 Cisco IMC Supervisor 2.0 アプライアンスを設定します。詳細については、VMware vSphere での Cisco IMC Supervisor のインストールまたはMicrosoft Hyper-V 2008 R2 での Cisco IMC Supervisor のインストールを参照してください。

ステップ 2 shelladmin コンソールから root としてログインします。オプション 20 を選択します。

（注） ルート パスワードには、スペースを含めることはできません。

ステップ 3 /opt/infra/migration/performMigration.sh を実行します。

ステップ 4 既存のアプライアンス 1.1.x.x を指定します。すべての既存のデータがインポートされます。

（注） 1.0.0.x アプライアンスを指定すると、移行スクリプトでエラーが表示されます。

ステップ 5 2.0 アプライアンスをテストし、データを検証します。

ステップ 6 古い 1.1.x.x アプライアンスを無効にします。

Cisco IMC Supervisor のアップグレード

次の手順を実行して、Cisco IMC Supervisor をアップグレードすることができます。

手順

ステップ 1 SSH アプリケーションを開き、Cisco IMC Supervisor アプライアンスの IP アドレスとポート番号を入力します。

ステップ 2 クレデンシャルで Cisco IMC Supervisor にログインします。

ステップ 3 Cisco IMC Supervisor シェル メニューから、[3) Stop Services] を選択します。

ステップ 4 すべてのサービスが停止していることを確認するために、[2) Display Services Status] を選択します。

ステップ 5 （任意）必要に応じて、[7) Backup Database] を選択して Cisco IMC Supervisor データベースをバックアップできます。

ステップ 6 アップグレードするには、[16) Apply Patch] を選択します。

ステップ 7 プロンプトが表示されたら、パッチの場所を入力します。たとえば、*<transfer protocol type>: // username : password @ hostname | IP_address / software_location_and_name* と入力します。

（注） サポートされる転送プロトコルのタイプは、FTP、HTTP、およびローカル ファイル システムです。次の例を使用できます。

- SFTP：**<filename.zip>**
  （注） SFTP ユーザは、セキュア プロトコル FTP または SCP を使用する必要があります。
- SCP：**<file path>/<filename.zip>**
- FTP（ホスト名）：**ftp://test:test123@test.cisco.com/opt/infra/external/uploads/imcs/<filename.zip>**
- FTP（IP アドレス）：**ftp://test:test123@10.10.10/opt/infra/external/uploads/imcs/<filename.zip>**
- HTTP：**http://test.cisco.com/downloads/<filename.zip>**
- HTTPS：**https://test.cisco.com/downloads<filename.zip>**
- ローカル ファイル システム：**file:///opt/infra/uploads/<filename.zip>**

ステップ 8 ダウンロードとインストールが完了するまで待ちます。

ステップ 9 [5) Stop Database] を選択してから、[6) Start the Database] を選択します。

ステップ 10 プロンプトが表示されたら、[4) Start Services] を選択し、アップグレードプロセスを完了します。

（注） Cisco IMC Supervisor サービスが開始し、Cisco IMC Supervisor が使用可能になり、ログイン画面が表示されて管理ユーザが Cisco IMC Supervisor にログインできるようになるまでは、アップグレードプロセスは完了または成功しません。追加パッチの適用、データベースのバックアップ、バックアップからのデータベースの復元など、すべてのサービスは他の shelladmin プロシージャを実行する前に開始されている必要があります。

ステップ 11 アップグレードが完了したら、shelladmin で [11) Show Version] を選択して、Cisco IMC Supervisor の現行バージョンを確認します。

（注）
- サービスの状態を表示するには、[2) Display Services Status] を選択します。
- Cisco IMC Supervisor をアップグレードしてポリシーまたはプロファイルを適用すると、使用可能なサーバで既存のラック アカウントのリストを表示できなくなります。パッチ アップグレードが完了したら、[Administration-] > [System] > [System Tasks] > [Rack Server Tasks] に移動し、[Group Rack Server Inventory Task] を選択し、[Run Now] をクリックします。

Cisco IMC Supervisor でサポートされるアップグレード/移行パス

Cisco IMC Supervisor リリース 2.0 へのアップグレード パスは、ご使用中の Cisco IMC Supervisor のバージョンにより異なります。Cisco IMC Supervisor リリース 2.0 でサポートされるアップグレード/移行パスは、以下のとおりです。

（注） リリース2.0以降、アップグレードでは有効なターゲットパスがチェックされ、アプライアンス バージョンおよびターゲット バージョンからのアップグレード パスがサポートされている場合にのみ、アップグレードします。

現在のリリース	直接アップグレード/移行のサポート	アップグレード パス
1.0.0.0 または 1.0.0.1	No	1.1.0.1 > 1.1.0.0 > 2.0.0.0 （注） Cisco IMC Supervisor の 1.0 から 1.1 へのアップグレードについては、『*Cisco IMC Supervisor Installation and Upgrade on VMware vSphere, Release 1.1*』を参照してください。
1.1.0.0	Yes	2.0 .
1.1.0.1	Yes	2.0
1.1.0.2	Yes	2.0 （注） バージョン 1.1.0.2 からバージョン 2.0.0.0 にアップグレードするには、/opt/infra/migration に移動し、migration-path-info.txt ファイルにバージョン 1.1.0.2 を追加します。